

米麦水分計を使ったナタネ子実水分の測定法

福島県農業総合センター 企画経営部

1 部門名

普通畑作物-その他ー収穫乾燥調製、作業技術、計測・調査法

2 担当者

朽木靖之

3 要旨

ナタネ子実は、収穫時の水分が高く、品質や搾油率の低下を防止するためには10%w.b.以下に水分を調製する必要がある。そこで、米麦用電気抵抗式水分計を利用した簡便な水分測定方法を明らかにした。

- (1) 子実水分8～20%w.b.の範囲では、電気抵抗式水分計(ライスタm、試料「もみ」)の表示値と、105℃-24h炉乾法及び高周波容量式水分計(PM-830-2)の測定値と高い相関がある(図1)。
- (2) 電気抵抗式水分計を利用する際は、必ず105℃-24h炉乾法、もしくは高周波容量式水分計のいずれかにて校正後、使用する。
- (3) 子実は油脂を含むため、使用後は電極部を十分清掃する。

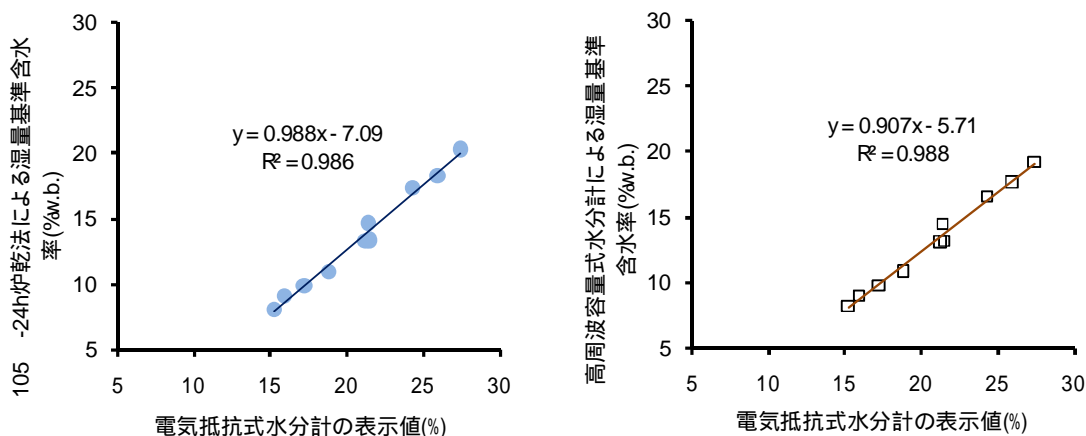


図1 各種測定法での測定例

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成21年度福島県農業総合センター試験成績概要(2009)